

【事例①】

[ソフト対策] (避難訓練の取組)

土砂災害を想定した避難訓練の実施

施設名	やすらぎ苑
施設種別	特別養護老人ホーム
所在地	山口県周南市大字湯野字岡向山158
施設の概要	定員70名, ショート10床, デイ30名
建物の概要	鉄筋コンクリート造平屋建
立地の状況	土砂災害警戒区域 (土石流, 急傾斜地崩壊)

[取組の概要]

特別養護老人ホームやすらぎ苑では、施設が土砂災害の恐れのある地域に立地していることから、H21年度より、土砂災害を想定した避難訓練を実施している。

[取組の経緯]

施設の東側に、山の急斜面があり、がけ崩れの恐れがあること、また、最近では、各地で大雨等による自然災害が多発していることから、災害は他人事ではなく、施設としても対策を講じていく必要があるとの認識に立って、土砂災害を想定した避難訓練を実施することとした。



[取組の状況]

- ・取組①：福祉車両の操作訓練の実施 [H21. 2～H21. 7]
- ・取組②：入所者避難訓練の実施 [H21. 5. 27/6. 17]
- ・取組③：H21年度防災訓練の実施 [H21. 7. 8]
- ・取組④：H22年度防災訓練の実施 [H22. 7. 2]
- ・取組⑤：職員に対する防災研修会の開催 [H22. 1. 21, 22, 25]

取組①：福祉車両の操作訓練の実施 [H21.2～H21.7]

目的

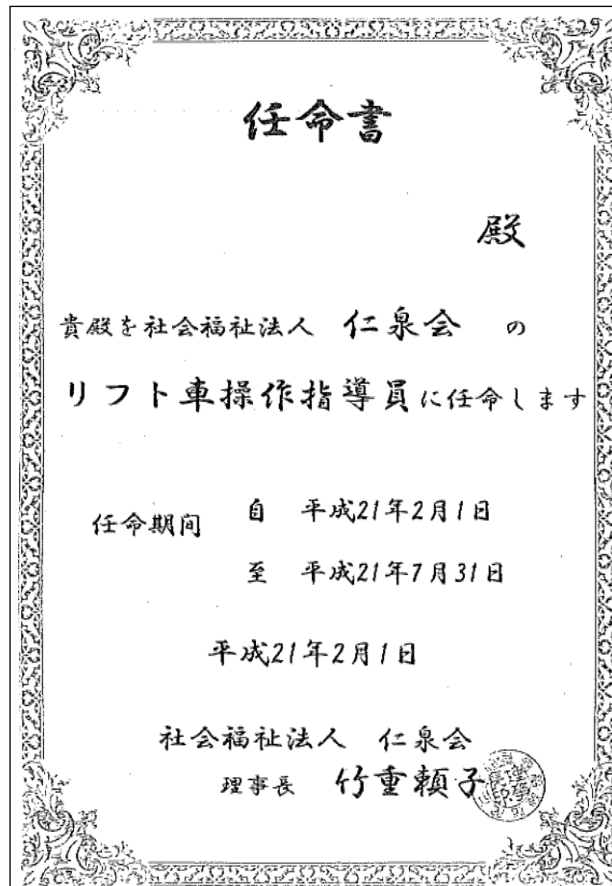
入所者の避難が速やかに行えるよう、職員誰でもが福祉車両のリフト操作や車いすの脱着などの作業手順等を習得し、備えておくもの

概要

職種に関わらず全職員が、施設の全ての福祉車両（5台）のリフト操作等を習熟できるよう、以下により訓練を実施。

- ①他の職員の指導に当たるため、4名のリフト車操作指導員を任命
- ②「リフト車操作訓練状況確認表」を作成し、各人の訓練状況を確認
- ③作業は、各職員自らがスイッチ操作1つも省略することなく実施
- ④操作等は、車いすに人を乗せた状態で実施

リフト車操作指導員任命書



状況

車両の種類や車いすの種類によって、リフト操作や固定方法が異なることから、職員全員が一巡し、操作等を習得するには、相当の時間を要した。

日時	平成 21 年 6 月 17 日 (水)							
場所	やすらぎ苑から湯野小学校まで往復							
避難時間状況表								
車輦名		開始時間	苑出発時間	学校到着時間	学校出発時間	苑到着時間	終了時間	出発場所
リフト車 I	1回目	10:30	10:37	10:40	10:45	10:49	10:52	特浴 横
	2回目	10:53	10:56	11:00	11:05	11:09	11:12	
リフト車 II	1回目	10:30	10:36	10:40	10:45	10:48	10:51	3号棟
	2回目	10:52	10:55	10:59	11:04	11:07	11:10	
軽 リフト	1回目	10:30	10:36	10:40	10:43	10:46	10:48	玄関
	2回目		10:50	10:53	10:56	10:59	11:00	
	3回目		11:01	11:04	11:07	11:10	11:12	
ラクティス	1回目	10:30	10:35	10:38	10:42	10:45	10:46	玄関
	2回目	10:54	10:56	11:00	11:03	11:06	11:08	
	3回目	11:10	11:12	11:15	11:18	11:21	11:22	
マイクロ			11:16	11:20	11:25	11:28	11:29	デイ玄関

◆訓練参加職員感想

[H21.5.27実施の訓練]

- ・入所者が避難済みかどうかの確認が徹底していなかった。
- ・職員同士の連絡の不手際から避難済みの居室に何度も入ることがあった。
- ・「トイレに行きたい」、「寒い」など、入所者に予想外の言動が見受けられた。
- ・実際の緊急時には事故発生の時間などでかなりの混乱が予想される。
- ・発熱者の対応など、時季に応じた物品の準備が必要である。
- ・避難場所は、ポールを立てるなどして、定めておくとよい。
- ・緊急時に対応するため、紙おむつ・毛布・バスタオルなどの必要物品をピックアップして、1箇所常備しておく必要がある。
- ・出口が1箇所だったので混雑した。複数箇所あるほうがよい。
- ・緊急時の利用者の所在確認が重要である。

[H21.6.17実施の訓練]

- ・入所者が車両へ乗車する際、職員が一人でリフト操作や移送を行ったが、複数人で声を掛け合って行うほうがよい。
- ・避難場所側ばかりに職員が偏らないよう、施設と避難場所双方の職員配置を検討する必要がある。
- ・道路の状態がよくわかった。(坂道、道幅が狭い、凸凹がある等)
- ・訓練時には、入所者に避難訓練であることを理解してもらう必要がある。
- ・事故のないよう、一つひとつの操作を確実にする必要がある。

取組③：H21年度防災訓練の実施 [H21.7.8]

目的

土砂災害の恐れがある時等に、職員誰でもが入所者の避難などの必要な行動が速やかに行えるよう、総合的に訓練を実施し、備えておくもの

概要

大雨による土砂災害を想定した総合的な訓練として、施設内及び関係機関への連絡、入所者を施設内の待機場所に集め、市の指定避難場所である周南市立湯野小学校体育館まで移送する訓練を実施。

平成21年度やすらぎ苑防災訓練要項

平成21年度やすらぎ苑
防災訓練要項

1. 日 時 平成21年7月8日(水曜日)
午前10時00分～11時30分
2. 場 所 やすらぎ苑 ～ 湯野小学校
3. 参加者 職員45名 パート10名 計55名
4. 訓練内容 災害発生時における、入所者の避難移送訓練

避難・搬送訓練

◎集中豪雨により土砂災害の危険が高まり、施設長より
避難指示。

(1) 非常通報訓練

事務所職員は電話により避難開始の旨消防署・湯野支所・湯野小学校へ通報。ならびに全館放送。

(2) 避難・搬送訓練

出勤職員は全館放送により避難開始、車を利用し湯野小学校体育館へ入所者を搬送し、介助にあたる。

(3) 本部報告

確認後、苑長より訓練終了指示。 → 入所者をやすらぎ苑に移動。
サンルームに集合、整列。

5. 講 評

周南市西消防署 西部出張所長 様
周南市西消防団 湯野分団長 様
周南市役所 湯野支所長 様
湯野小学校 校長 様

* その他

本部統括(やすらぎ苑サンルーム)・・・山根施設長(090-)
やすらぎ苑担当責任者・・・主任(090-)
湯野小学校担当責任者・・・課長(090-)

状況

訓練は、職員（４５名）及びパート職員（１０名）で実施。

当日は、雨天となり、避難場所である小学校体育館には、スロープはあるものの、スロープ部分に屋根がなく、入所者を濡らすことになること、また、その他の入り口では段差があり、車いすの使用が困難であったことから、体育館内までの訓練は実施できなかった。（ただし、車両の運行状況把握も訓練の一環であるため、小学校で５分間待機した後、施設に戻ることにした。）

別紙 事故対策委員会会議記録

日時	平成 21 年 7 月 8 日		AM10:00~					
場所	ヤナギ苑から馬野小学校まで往復							
避難車両搬送時間								
車両名	運転者	避難開始時間	苑出発時間	学校到着時間	全員降車時間	学校出発時間	苑到着時間	
リフト車 I		1回目	10:04	10:09	10:13	:	10:15	10:19
		2回目	10:25	10:27	10:31	:	10:36	10:41
		3回目	10:44	10:47	10:50	:	10:57	11:02
リフト車 II		1回目	10:00	10:10	10:14	5分待機	10:19	10:22
		2回目	10:24	10:30	10:34	5分待機	10:39	10:43
		3回目	10:43	10:53	10:56	5分待機	11:01	11:04
デイリフト		1回目	10:00	10:07	10:10	:	10:15	10:18
		2回目	10:18	10:24	10:28	:	10:33	10:36
		3回目	10:40	10:45	10:47	:	10:53	
軽 リフト		1回目	10:05	10:07	10:10	:	10:13	10:16
		2回目	10:16	10:20	10:23	:	10:25	10:27
		3回目	10:27	10:31	10:34	:	10:38	10:41
ラクティス		1回目	10:00	10:04	10:07	4分待機	10:11	10:13
		2回目	10:14	10:16	10:18	2分待機	10:20	10:23
		3回目	10:25	10:27	10:29	3分待機	10:32	10:35
ミラ		1回目	10:09	10:11	10:14	:	10:19	10:21
		2回目	10:27	10:29	10:32	:	10:37	10:40
三菱軽		1回目	10:07	10:10	10:12	:	10:18	10:20
		2回目	10:31	10:34	10:37	:	10:42	10:44
マイクロ		1回目	10:05	10:11	10:15	:	10:20	10:30

訓練の様子





◆訓練参加職員の感想

[リフト車操作について]

- ・ 日常から、慣れておく必要があると感じた。
- ・ 操作時には、補助者が付いて、声を掛け合って作業をするほうがよい。
- ・ 車内は狭く、車いすから座席への移乗は、難しいと感じた。

[避難車両の車内について]

- ・ 寒さを訴える入所者もあり、車内にタオル、膝掛け、上着など防寒用品の準備が必要と感じた。
- ・ 避難経路の途中にある坂道では、道の傾斜で、入所者が車いすから落ちそうになったり、興奮する人、不安がる人、車いすのブレーキを外そうとする人などもいたので、乗せるだけでなく、車内でも配慮が必要と感じた。

[避難車両について]

- ・ 車いすによっては、乗車できない車両もあり、日頃から、車いすと車両の適合について把握しておく必要がある。
- ・ 多数の車両が同時に運行するので、施設、小学校それぞれに誘導する人が必要と感じた。

[その他]

- ・ 職員間の情報伝達が不十分だったと感じた。
- ・ 避難した人、まだ残っている人の確認の仕方を検討する必要がある。
- ・ 避難経路上の川が増水した場合、道が1つのため不安を感じた。
- ・ 避難時に、各入所者の状況がわかるようなカードを作成しておく必要がある。

取組④：H22年度防災訓練の実施 [H22.7.2]

目的

土砂災害の恐れがある時等に、職員誰でもが入所者の避難などの必要な行動が速やかに行えるよう、総合的に訓練を実施し、備えておくもの

概要

集中豪雨による土砂災害を想定した、総合的な訓練として、施設内及び関係機関への連絡、公休職員の非常呼集、施設前庭までの入所者避難等を実施。

- ・この度は、職員に対する詳細な訓練手順の指示は行わず、各部署の主任の判断、指示に基づいて、入所者避難を行う
- ・デイサービスセンター利用者も参加
- ・「やすらぎ苑災害時救助ボランティア」登録者も訓練の状況を見学

平成22年度やすらぎ苑防災訓練要項

平成22年度やすらぎ苑 防災訓練要項

1. 日 時 平成22年7月2日(金曜日)
午前10時30分～11時30分
2. 場 所 やすらぎ苑
3. 参加者 やすらぎ苑職員46名 パート9名 計55名
やすらぎ苑災害時救助ボランティア(登録12名)
湯野地区消防団
4. 訓練内容 災害発生時における、入所者の避難・搬送(想定)・消火器使用訓練

避難・搬送(想定)・消火器使用訓練

◎集中豪雨により土砂災害の危険が高まり、周南市役所湯野支所より避難勧告。 ☎やすらぎ苑 ☎(0834) 83-3711

⇒(湯野支所)「訓練です。豪雨による土砂災害の危険が高まりましたので、指定避難場所である湯野小学校体育館へ避難して下さい。」

⇒施設長より避難開始の指示。

(1) 非常通報訓練

- ① 事務所職員は電話により避難開始の旨消防署・湯野小学校へ通報。
ならびに全館放送。
- ② 各部署より当日公休職員へ電話連絡。
⇒電話連絡を受けた職員は、やすらぎ苑へ出勤。
(到着時、事務室にて電話を受けた時刻と到着時刻を確認)

(2) 避難・搬送(想定)訓練

出勤職員は全館放送により避難開始、車を利用し湯野小学校体育館へ入所者を搬送(想定)し、介助にあたる。

(3) 本部報告

確認後、苑長より訓練終了指示。 → 入所者を居室に移動。
前庭に集合、整列。

(4) 消火器使用訓練

ハツタ山口さん指導による、消火器使用訓練。(6名)

5. 講評

周南市西消防署 西部出張所長 様
周南市西消防団 湯野分団長 様
周南市役所 湯野支所長 様
湯野小学校 校長 様

6. 役割分担等

- ① 本部統括(サンルーム)・・・ 施設長
- ② 全館放送、電話通報、記録・・・ 総務課長、(通報) 相談員
- ③ 公休職員への連絡・・・ 各部署
- ④ 車両運転・・・ 出勤中の男性職員で運転可能な者
- ⑤ 本部報告・・・ 各部署主任

7. その他

- ① 特養入所者、シヨート利用者は、正面玄関・待浴室横・3号棟出入口より避難誘導し、前庭へ集合。(雨天の場合は直接サンルームへ集合。)
 - ② デイサービス利用者は、デイサービス玄関より避難誘導し、前庭へ集合。(雨天の場合は直接サンルームへ集合。)
 - ③ 車両運転職員は、搬送を想定し、車庫より前庭へ車両を移動させる。(実際の搬送時には、各出入口より利用者を乗車介助し湯野小学校へ搬送。)
- * 今回の避難訓練では、通常の日中想定で行いますので、細かい役割分担や搬出手順などは定めていませんので、各部署主任を中心に当日出勤職員により、手分けして避難誘導を行いたいと思います。
後日、反省点や改善点を確認します。
- * 当日は、やすらぎ苑災害時救済ボランティア登録者と、湯野地区消防団も参加見学される予定です。
- * 当日公休で、電話連絡を受け自宅より出勤される職員は、安全運転に留意し事故の無いよう出勤して下さい。

状況

訓練は、職員(46名)及びパート職員(9名)で実施。

昨年度訓練後の意見で作成した、入所者情報カードを、各入所者の身に付けるようにするとともに、避難完了後の居室には、避難済みのカードを下げるようにした。

各避難用出口には、職員を配置し、入所者の避難をチェックした。

[開始] 10:31 (周南市役所湯野支所より連絡)

↓

[完了] 10:50 (施設前庭へ避難)

訓練の様子



周南市役所湯野支所から避難勧告



施設内放送 ⇒ 訓練開始



職員呼集の連絡



入所者の避難



避難の確認

避難済カード





施設前庭へ避難



氏名と到着時間を記入してください。

到着時間
10:37
10:38
10:43
10:50
10:54

職員呼集



訓練終了

◆訓練参加職員の感想

[避難口について]

- ・どの避難口から避難するかを、職員各人の判断に任せたため、結局、1箇所の出口に集中することとなった。
- ・避難口によっては、段差があり、歩行者、車いす利用者どちらにも危険だと感じた。
- ・施設の内と外とで職員がリレー形式で分担して、避難誘導するほうがよいと感じた。（この点については、計画ではリレー形式の予定であったが、職員に十分周知できていなかった。）

[避難行動について]

- ・入所者のベッドからの移動介助や車いす介助は、介護職員だけでなく、その他の職員でも行えるよう、備えておく必要がある。
- ・通常は、自力歩行ができる入所者も緊急時には、車いすを使用するほうがよいと感じた。

[非常呼集について]

- ・実際の災害時に、車両を使っての参集が平常心で行えるか、不安を感じた。
- ・施設に到着したものの、その後の対応について指示がなかったので、どう対応したらよいかわからなかった。

[その他]

- ・施設内放送が聞こえなかった。日頃から音量に気を配っておく必要を感じた。
- ・ボランティア登録者について、職員に周知できていなかった。
- ・避難済みのカードを居室の入り口に下げておいたのは、わかりやすかった。
- ・各出口で、避難した入所者をクリアシートに記入する方法は、素早く確認する方法として有効だった。
- ・「防災共助マップ」の作成、人的ネットワークの構築の必要性を感じた。

取組⑤：職員に対する防災研修会の開催 [H22.1.21,22,25]

目的

職員の防災意識の啓発及び施設の立地状況や防災対策について周知を図るためのもの

概要

施設長が講師を務め、職員を3回に分けて実施。

研修会資料

平成22年1月21, 22, 25日

防 災 研 修 会

はじめに

私の体験、火災現場、台風への遭遇、阪神淡路の大震災（自宅）で現地入りしたこと
 自然災害発生国、近年世界中で甚大な被害が発生する自然災害が多発。日本も同じ状況
 予測は現状では難しいのが現状、災害には、火災、震災、風水害、雪害など、
 今回は風水害、地震を中心に話したい
 災害が起こったら、自助、共助、公助

1. マニュアルを創るきっかけと研修の目的

施設長に就任直後に、私自身がこの施設にとって大きな課題との認識に（直感で）
 県庁の実地指導監査（就任直後）で作成しているかという問いかけあり
 それに対処するために、少しずつ作業をして完成させた

今日のこの取り組みは、不安を煽ったり、現状を否定したりするものではありません。
 現実のこととして、山口県の土砂災害危険箇所（約480カ所）マップに掲載されてい
 る。施設の後背地が土石流危険渓流地、がけ崩れ危険地域になっている（山口県内に4
 0カ所ある）。やすらぎ苑の後背地には9カ所に砂防堰堤が設置されている。湯野の西
 側の山にも同じような危険地域が沢山あり11カ所砂防堰堤がおかれている。災害防止
 対策はしてある。防府のケアハウス高砂の後背地には、何の手立てもなかった。

このような現実を踏まえて日頃から、防災意識を高揚し具体的な備えをしておいてもら
 い、発生時に一歩でも前向きな様々な対処が、出来るようになっていただければとい
 う思いで設営したものです。

※土砂災害のMAP、活断層のマップについて（口頭で説明）

その他、活断層の端に位置する当地（熊毛方向から久米の山口県立周南総合支援学校近
 くまで、柴谷、防府の右田にも）

そんな自然環境の中に立地している事実を認識しておきたい

2. やすらぎ苑の防災マニュアルの要点について

■平常時の災害対策

1. 立地環境と災害予測（はじめにおよびマニュアルを作るきっかけで述べた通り、

2. 防災設備等の確認

(1) 災害共通

情報伝達、緊急放送、ホイッスル

水道の代替 *受水槽のこと 非常用の備蓄水

ガスの代替 灯油、小型のガスボンベ、カセットボンベ、*ガス保安メーターの事

貯蔵されたLPGのこと

※以下省略

状況

研修会の様子

